

取組4 にぎわいある観光の振興

取組の評価 2.7 一部に改善を要する

- < 取組4 の基本方針 >
1 多彩な観光商品の開発
2 イベントの有効活用
3 おもてなしの充実
4 戦略的な商品販売の支援

【取組の目的】 豊かな自然や歴史・文化など、地域資源を活かしたまちの新たな魅力づくりと発信に努め、観光交流客を増やします。

『 取 組 』 に 係 る 社 会 の 動 向 と 本 市 の 現 状

1 社会の動向

- ◎ 団体旅行が減少し、家族旅行や友人とのグループ旅行など観光の個人化が進んでおり、これに伴い、高速道路網の充実と利便性の向上などにより、クルマ旅行が主流となっている。
- ◎ 「安上がりな旅行、近場の旅行、短い旅行、少人数の旅行」といういわゆる「安・近・短・少」の傾向が顕著になっており、1回当たりの総旅行費用や平均宿泊日数など、いずれも減少傾向にある。
- ◎ 本年4月に開通となった新東名高速道路においては、サービスエリアやパーキングエリアが観光集客施設として位置づけられるなど、新たな発想の観光施設ができており、観光市場が縮小する中、観光地間の競争は、ますます激しくなっている。
- ◎ 東日本大震災後は、訪日外国人観光旅行者が激減し、その後徐々に回復の兆しが見えはじめているものの、円高状況が続いており懸念材料は多い。

2 本市の現状（主な取組）

- ◎ 袋井市観光協会への活動支援として、B級グルメスタジアム i nエコパ実行委員会への補助金支援をはじめ、B－1グランプリへ「袋井宿たまごふわふわ」を出展する際の市職員派遣等を行っている。また、袋井市観光案内所における市と協会の連携体制は、観光客の満足度を高めるとともに、「三日坊さんの旅」など地域が一体となった魅力的な観光施策の展開に繋がっている。
- ◎ 全国屈指の花火大会となっている「ふくろい遠州の花火」へは、安全対策や市民花火推進の観点で事業費補助を行うとともに人的支援を行っており、本市を全国発信するためのツールとともに、経済効果や地域活性化の効果をもたらすイベントとなっている。
- ◎ 魅力ある観光振興策を戦略的に展開するため、平成23年度に「袋井市観光基本計画」を策定した。本計画では“目指す姿”を「心もからだもまちもほっとする『健康文化観光』ふくろい」、「目指す方向」を「リピーターとファンづくり」とし、3つの基本方針「袋井地域ブランドの創出」「マーケティングの推進」「担い手の充実と育成」に基づく様々な施策を展開することとしている。計画初年度の平成24年度は、“ふくろい観光ルネッサンス事業”と銘打ち、遠州三山をクローズアップする事業展開を中心に観光交流客数を増加させる取り組みを実施している。

『 取 組 指 標 』 の 分 析 と 評 価 結 果

1 取組指標の評価 【※ 実績値は、各年度末における最新数値】 評価結果の平均値（A） 1.0

<評価基準> 4：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 ≥ 0％ 3：達成率 ≥ 100%・前年比伸び率 < 0％ 2：達成率 < 100%・前年比伸び率 ≥ 0％ 1：達成率 < 100%・前年比伸び率 < 0％

番 号	指 標 名	項 目	現状値（計画）	H22	H23	H24	H25	H26	H27
1	観光交流客数【万人】	目 標 値	－	454	454	462	470	478	486
		実 績 値	407	446	427				
		達成率	－	98.2	94.0				
		伸び率	－	9.5	▲ 4.2				
2	観光案内所来場者数【人】	評 価	－	2	1				
		目 標 値	－	3,710	3,710	3,750	3,790	3,830	3,900
		実 績 値	3,632	4,121	3,260				
		達成率	－	111.0	87.8				
3		伸び率	－	13.4	▲ 20.8				
		評 価	－	4	1				
		目 標 値	－						
		実 績 値	－						
4		達成率	－						
		伸び率	－						
		評 価	－						
		目 標 値	－						
		実 績 値	－						
		達成率	－						
		伸び率	－						
		評 価	－						

- 【指標に影響を与えた主な要因】
- ◎ 観光交流客数：東日本大震災の影響により減少したが、前半の大きな落ち込みを考えると、全体的には持ち直し傾向となった。
- ◎ 観光案内所来場者数：東日本大震災による減少が大きいが、旅行形態がマイカーに移行していることから、駅前での来客数は減少傾向となっている。

2 指標で表すことが困難な成果

- ◎ 集客性の高いふくろい遠州の花火やエコパを会場としたイベントは、市の知名度を高める効果があるとともに、会場周辺の商業施設での販売促進に繋がっている。
- ◎ 三日坊さんの旅など、地域資源を活用した観光振興を進めることで、市民が自分のまちに誇りをもち、人の交流を通して、地元の魅力を再発見するなどの相乗効果も期待される。

『 主 要 事 業 』 に 係 る 事 業 評 価 表 の 評 価 結 果

1 主要事業の評価

番号	主 要 事 業 名	H23 事業費 【千円】	事 業 評 価 表 の 評 価 結 果			
			有 効 性	効 率 性	廃 止 の 影 響	
			4. 有効 3. 概ね有効 2. 一部有効でない 1. 有効でない	4. 効率的 3. 概ね効率的 2. 一部効率的でない 1. 効率的でない	4. 影響あり 3. どちらでもない 2. 影響ない 1. 代替手法がある	
1	地域振興イベント事業 （ふれあい夢市場）	2,400	4	4	4	
2	観光関係印刷物作成事業	1,474	4	4	4	
3	観光広告掲載事業	384	4	4	4	
4	観光団体活動支援事業	8,038	4	4	4	
5	ふくろい遠州の花火補助事業	9,010	4	4	4	
6	観光案内所運営事業	2,445	4	4	4	
7	観光施設管理事業	2,684	4	3	4	
8	千鳥ヶ谷池安全整備事業	1,272	4	4	4	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
評価結果の平均値（B）		3.9	4.0	3.9	4.0	

『 取 組 』 の 有 効 性 ・ 必 要 性 ・ 緊 急 性 の 評 価 結 果

1 取組の有効性等の評価 評価結果の平均値（C） 3.3

番 号	評 価 項 目	H22	H23	H24	H25	H26	H27	コ メ ン ト 欄
1	有 効 性 4. 想定どおりの成果 3. 概ね想定どおりの成果 2. 一定の成果 1. 想定した成果なし	4	3					◎ 「ふくろい遠州の花火」は、県外からも多くの集客効果があり「袋井」の名を全国に発信するイベントとなっているとともに、物販も含め地域経済への波及効果も大きい。また、花火大会の運営には、地元産業界を中心として、市民が一丸となって取り組んでいることは、企業や市民の誇りとなっている。 ◎ 袋井市観光協会等と連携した観光振興の取り組みでは、「三日坊さんの旅」や「遠州三山 自分巡礼の旅」など、袋井市の古刹と季節を結びつけ“癒し”をキーワードに展開するなど、既存資源を有効に活用し効果を生み出している。
2	必 要 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	4					◎ 地域経済への波及効果の観点から、地域の観光資源を最大限活用し、リピーターとファンづくりを推進する必要がある。 ◎ “まちの活力”を生み出す源は、にぎわいであり、多くの人が訪れるまちをつくっていく観光政策は、本市の発展には欠かせないものである。また、現在進めている観光イベントは、そのほとんどが地域の企業や市民が携わり実施していることから、地域の力を結集しまちづくりを進める体制の基礎的役割を担っていると言える。
3	緊 急 性 4. 極めて高まっている 3. 高まっている 2. 一定程度高まっている 1. 高まっていない	3	3					◎ 本年4月に新東名高速道路道が開通したことで、袋井市の魅力をさらに広域に発信できる機会が増えたとも言えるが、逆に新東名沿線の観光地と競合する状況になり、今まで以上に、まちの魅力の発信や他との差別化を図ることが求められている。 ◎ 雇用環境が悪化している状況下において、ふくろいの観光を活性化させることは雇用の創出に繋がることでもあり、産業構造の転換期にある今新たな雇用の受け皿としての観光振興を考える必要がある。

『 取 組 』 の 総 合 評 価 と 今 後 の 展 開 方 向

1 総合評価 <<評価基準>> 4 ～ 3.6：順調 3.5 ～ 3：概ね順調 2.9 ～ 2：一部に改善を要する 1.9 ～ 1：全体的に改善を要する

取 組 の 評 価			コ メ ン ト 欄
2.7	一部に改善を要する		◎ 「ふくろい遠州の花火」は、全国有数の花火であり「袋井」の名を全国に発信するとともに、袋井市への交流人口の獲得に効果がある。また、市内における物販や宿泊も含め、地域経済への波及効果も大きい。
	各評価結果の平均値		◎ 袋井市観光協会等と連携した観光振興の取り組みでは、「三日坊さんの旅」や「遠州三山 自分巡礼の旅」など、袋井市の古刹と季節を結びつけ“癒し”をキーワードに展開するなど、既存資源を有効に活用し効果を生み出している。
	取組指標の 評価結果（A）	主要事業の 評価結果（B）	有効性等の 評価結果（C）
1.0	3.9	3.3	

2 取組の基本方針別 今後の展開方向

番 号	取 組 の 基 本 方 針	H22	H23	H24	H25	H26	H27	今 後 の 展 開 方 向
1	多彩な観光商品の開発	継続推進 →	拡充 ↗					既存の地域資源、観光資源にパワースポットなどの物語性を付け加えたり、焦点を絞るなど、新しい発想で、神社仏閣、エコバ、祭屋台など、今ある資源や埋もれている資源を掘り起こし、磨き上げていく。また、既存資源の組み合わせで「農を活かした観光」、ウォーキングやサイクリングを活かした「スポーツ観光」など、他分野との連携で新たな観光商品を開発する。
2	イベントの有効活用	拡充 ↗	継続推進 →					集客性の高い「ふくろい遠州の花火」やエコバを会場としたイベントを活用し、市の知名度を高める取り組みを実施するとともに、地元商品の販売促進が図られるよう支援する。
3	おもてなしの充実	継続推進 →	継続推進 →					観光交流客数を増やすため、来訪者が安心して市内を周遊し滞在することができるよう、観光施設の整備・メンテナンスや、おもてなし体制の充実を図っている。また、リピーターやファンとなってもらうためマーケティングの分析を行い、施策に反映する。さらに、まちの玄関口であるJR袋井駅の改築により、来訪者の利便性を向上させる。
4	戦略的な商品販売の支援	拡充 ↗	拡充 ↗					地域の伝統食や食材を活かした魅力的な特産品開発を支援するとともに、ふくろい宣伝隊事業を活用し商品の知名度向上及び販路拡大に向けた取り組みを強化する。
5								
6								

【その他留意事項】